

花咲翁の集い in かみのくに開催

6月30日から7月2日にかけて、日本の地域振興やふるさとの在り方を語り合う年に一度のまちづくり全国集会「花咲翁の集い」が、本町で開催されました。日本ふるさと塾主宰である萩原茂裕氏は「まちづくりは人づくり」という理念のもとで、これまで数多くの地域で講演され、また実際のまちづくりに関わってきました。

この集いでは、参加者自らのまちづくりの考えを主張する学ぶ会のほか、本町の観光資源や文化財施設の見学、地域の特産品を味わう舌鼓会などが行われ、3日間のまちづくりに関する濃密な集いは幕を閉じました。この集いをきっかけとして、本町にもまちづくりに熱い思いを持ち、行動する人材が育つことが期待されます。



水難救助訓練実施

7月21日、水難事故発生時の救助技術の向上を図るため、日本水難救済会上ノ国救難所主催による訓練大会が、汐吹漁港で実施されました。

上ノ国救難所の組合員は主に地元の漁業者を中心に構成され、大会には21名が参加しました。またこの日は、20年以上組合員として人命救助のために活動されてきた方に感謝状が送られ、所長から「海難防止の啓蒙をこれからも継続して行っていきたい」と訓辞が述べられた後、溺れている要救助者を想定しての「救命索発射訓練」を実施。

参加した組合員は、一つ一つの動作を確認しながら、的確に訓練に取り組んでいました。

上ノ国に再びニシンを！ ニシンの放流式開催

6月23日、汐吹漁港においてニシンの稚魚放流式が執り行われました。

これは上ノ国町に再びニシンが戻ることを目的に、栽培漁業総合センターで生産されたニシン稚魚約1万匹を放流しました。放流式ではまず稚魚の無事と成長を祈る祈禱が行われ、その後参加された方々は放流用に設置した流水路に次々と稚魚を放流していききました。

また放流式には滝沢小学校の児童20人も参加し、「帰ってきてねー」「がんばってー」と稚魚を応援する言葉が多く聞かれました。



無料刃物研ぎ サービス実施

7月13日、上ノ国建設業技能者協会主催による刃物研ぎサービスが扇石地区多目的集会施設前で実施されました。

これは同協会11人が中心となり地域貢献を目的として毎年行われているもので、この日は地域に住む27人の方が包丁を持ち寄り、述べ72本が研ぎなおされました。

砥石と水を往復する度に鋭さを取り戻していく包丁を見て、持ち主の主婦の方々は、「大切に使います、また来年お願いします」と感謝の言葉を伝えていました。